

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3801461号

(P3801461)

(45) 発行日 平成18年7月26日(2006.7.26)

(24) 登録日 平成18年5月12日(2006.5.12)

(51) Int. Cl.

F I

A 4 7 B 96/06 (2006.01)

A 4 7 B 96/06

C

A 4 7 B 77/00 (2006.01)

A 4 7 B 96/06

B

A 4 7 B 77/00

請求項の数 1 (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2001-140874 (P2001-140874)
 (22) 出願日 平成13年5月11日(2001.5.11)
 (65) 公開番号 特開2002-330839 (P2002-330839A)
 (43) 公開日 平成14年11月19日(2002.11.19)
 審査請求日 平成15年12月19日(2003.12.19)

(73) 特許権者 000000479
 株式会社 I N A X
 愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地
 (72) 発明者 戸田 智博
 愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地 株式
 会社イナックス内

審査官 七字 ひろみ

(56) 参考文献 実開昭61-163806 (JP, U)
 特開平08-299088 (JP, A)
 実開昭54-065722 (JP, U)
 実開昭63-028731 (JP, U)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 キッチンキャビネット固定具

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

キッチンキャビネットをその後方の壁面に取り付けるキッチンキャビネット固定具であって、キャビネット側固定具と壁面側固定具と連結ボルトとで構成され、該キャビネット側固定具は、前記連結ボルトに螺合するためのネジ切り穴を設けた水平片と、該水平片の一端より垂直に延設され、背板の裏面に固定された補強材に取付けられる取付け片と、該取付け片とは反対側の水平片の一端より上方へ垂直に立ち上がる立ち上がり片とを有し、該壁面側固定具は、前記連結ボルトを挿通するための長穴を設けた水平片と、該水平片の一端より垂直に延設され、壁面に取付けられる取付け片と該取付け片とは反対側の水平片の一端より前記立ち上がり片と同じ長さ垂下する垂下片とを有し、背板と壁面との間隔に合わせた重ねあわせ代により、前記キャビネット側固定具及び前記壁面側固定具の水平片を重ねあわせ、前記長穴に連結ボルトを挿通し、前記ネジ切り穴に該連結ボルトをネジ込むようになっていることを特徴とするキッチン固定具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、キッチンキャビネットとその後方の壁面とを固定するキッチンキャビネット固定具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

10

20

従来、図10及び図11に示されるように、キッチンキャビネット41を壁面40に固定する際には、キッチンキャビネット41の側板42に下穴43を斜めにあけ、ネジ46で固定する方法がとられていた。

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

しかし、この場合、▲1▼側板42が壁面40に接しない仕様の場合には固定できない。▲2▼側板42は、パーティクルボード材と木屑チップを固めた材料等であるため、下穴43の位置などの問題により、下穴43の周囲が砕けてしまう可能性があり、十分に固定できない。▲3▼背板44の後方に配管スペース45を設けたユニットがキッチンセットのかなりの間口寸法を占める場合、セットと壁面40との固定が十分にできず、コーキング切れによる漏水の心配がある。

10

【0004】

本発明では、上記▲1▼～▲3▼の問題点を解決すべく、背板の後方に配管スペースがあるなど、背板が壁面と接しないような場合において、確実にキッチンを後方の壁面に固定し、かつ、寸法の異なる配管スペース等の間隔にも対応できるようにすることを課題としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明のキッチンキャビネット固定具では、キャビネット側固定具の水平片と壁面側固定具の水平片とがキッチンキャビネットと壁面との間隔をとる。これにより、背板の後方の配管スペース等、背板と壁面との間隔を確保できる。また、キャビネット側固定具の取付け片がキッチンキャビネットの背板の裏面に固定される補強材に取付けられる。この際、連結ボルトを挿通した長穴で調整しながら、キャビネット側固定具及び壁面側固定具の両水平片の重ね合わせ代を背板と壁面との間隔に合わせ、連結ボルトをネジ切り穴に螺合する。このため、背板の後方に配管スペースがあるなど、背板が壁面と接しないような場合において、その配管スペース等の間隔を自由に変えつつ、キッチンキャビネットを後方の壁面に固定できる。また、キッチンキャビネットの側板に穴を開ける必要がないことから、キッチンキャビネットを壁面に確実に固定できる。

20

【0006】

さらに、前記キッチンキャビネット固定具において、キャビネット側固定具が水平片の一端より上方へ垂直に立ち上がる立ち上がり片を有し、壁面側固定具が水平片の一端より立ち上がり片と同じ長さ垂下する垂下片を有するので、キッチンキャビネット固定具及び壁面側固定具の連結ボルトの締め付けをきつくすることができるという効果を奏する。

30

【0007】

【実施例】

図1は、第1の実施例のキッチンキャビネット固定具18を構成するキャビネット側固定具1の斜視図、図2は、壁面側固定具7の斜視図、図3は、第1の実施例のキッチンキャビネット固定具18を用いて、キッチンキャビネット20を壁面12に取り付けた状態の断面図、図4は、キッチンキャビネット20にキャビネット側固定具1を取り付けた状態の平面図であり、2、10は水平片、3はキッチンキャビネット20の背板13に固定した補強材14への取付け片、4は折り返し片、5は連結ボルト15を螺合するためのネジ切り穴、6、9は固定ネジ穴、8は壁面12への取付け片、11は連結ボルト15挿通用の長穴、16、17は固定ネジ、19はキッチンキャビネット20の側板である。

40

【0008】

本実施例においては、補強材14にキャビネット側固定具1を固定ネジ16で取り付け、キッチンキャビネット20と壁面12との間隔にあわせ、壁面側固定具7の水平片10をキャビネット側固定具1の水平片2に上から重ね合わせ、連結ボルト15を壁面側固定具7の長穴11とキャビネット側固定具1のネジ切り穴5に挿通し、連結ボルト15をネジ切り穴5に螺合する。そして、キッチンキャビネット固定具18を壁面12に固定ネジ17で取り付ける。これにより、キッチンキャビネット20を壁面12に容易に固定でき、

50

背板１３の後方に配管スペースを設けたユニットの場合の寸法の異なる配管スペースや壁面１２に不陸がある場合にも対応することができる。

【０００９】

また、補強材１４の取付け片３に折り返し片４があることでキャビネット側固定具１を補強材１４に取付ける際、現場での位置出しもしなくて良い。さらにキャビネット側固定具１の水平片２から取付け片３への折り返し部分や壁面側固定具７の水平片１０から取付け片８への折り返し部分に補強リブ１ａを設けても良い。

【００１０】

図５～７は、第２の実施例を示したもので、キャビネット側固定具２１の水平片２２の一端より上方へ垂直に立ち上がる立ち上がり片２３を設け、壁面側固定具２４の水平片２５の一端より前記立ち上がり片２３と同じ長さ垂下する垂下片２６を設けたキッチンキャビネット固定具２７である。図５はキャビネット側固定具２１の斜視図、図６は、壁面側固定具２４の斜視図、図７は、第２の実施例のキッチンキャビネット固定具２７を用いて、キッチンキャビネット２８を壁面３０に取り付けた状態の断面図である。他の構成は第１の実施例と同一である。

10

【００１１】

この実施例では、立ち上がり片２３と垂下片２６とが連結ボルト２９の締め付け時に撓むことで連結ボルト２９の締め付けをきつくすることができるという利点がある。

【００１２】

図８、９は第３の実施例で、図８はキャビネット側固定具３１の斜視図、図９は、第２の実施例のキッチン固定具２４を用いて、キッチンキャビネット３３を壁面３４に取り付けた状態の断面図である。他の構成は第１の実施例と同一である。

20

【００１３】

この実施例においては、キャビネット側固定具３１の水平片３５にネジ切り穴３６が２つあるため、前後調整の幅を大きくでき、様々な配管スペースのキッチンキャビネット３３に対応することができる。

【００１４】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の請求項１のキッチンキャビネット固定具には、キッチンキャビネットの背板の後方に配管スペース等の間隔を設けたユニットの場合等において、寸法の異なる配管スペースや、壁面に不陸がある場合にも対応でき、さらに、連結ボルトの締め付けをきつくすることができるという効果がある。

30

【図面の簡単な説明】

【図１】第１の実施例のキッチンキャビネット固定具を構成するキャビネット側固定具の斜視図。

【図２】第１の実施例のキッチンキャビネット固定具を構成する壁面側固定具の斜視図。

【図３】第１の実施例のキッチンキャビネット固定具を用いてキッチンキャビネットを壁面に取り付けた状態の断面図。

【図４】第１の実施例のキャビネット側固定具をキッチンキャビネットに取り付けた状態の平面図

40

【図５】第２の実施例のキッチンキャビネット固定具を構成するキャビネット側固定具の斜視図。

【図６】第２の実施例のキッチンキャビネット固定具を構成する壁面側固定具の斜視図。

【図７】第２の実施例のキッチンキャビネット固定具を用いてキッチンキャビネットを壁面に取り付けた状態の断面図。

【図８】第３の実施例のキッチンキャビネット固定具を構成するキャビネット側固定具の斜視図。

【図９】第３の実施例のキッチンキャビネット固定具を用いてキッチンキャビネットを壁面に取り付けた状態の断面図。

【図１０】従来のキッチンキャビネットの壁への取付け方法を示す側面図である。

50

【図 1 1】従来のキッチンキャビネットの壁への取付け部分の要部拡大図である。

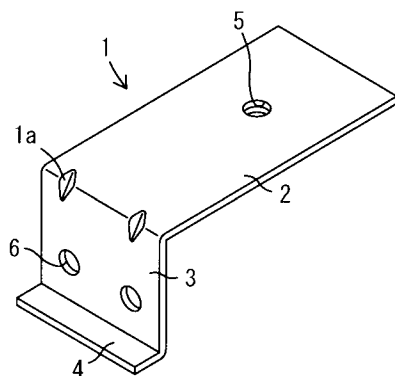
【符号の説明】

- 1、21、31 キャビネット側固定具
 7、24 壁面側固定具
 18、27、32 キッチンキャビネット固定具
 20、28、33、41 キッチンキャビネット
 12、30、34、40 壁面
 2、10、22、25、35 水平片
 3、8 取付け片、
 13、44 背板
 14 補強材
 4 折り返し片
 5、36 ネジ切り穴
 15、29 連結ボルト
 6、9 固定ネジ穴
 11 長穴
 16、17 固定ネジ
 19、42 側板
 23 立ち上がり片
 26 垂下片

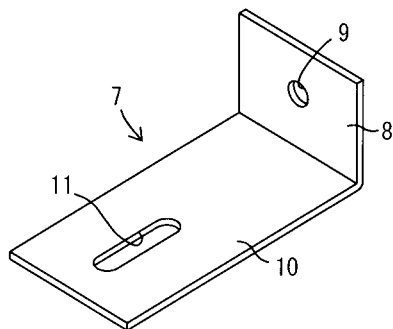
10

20

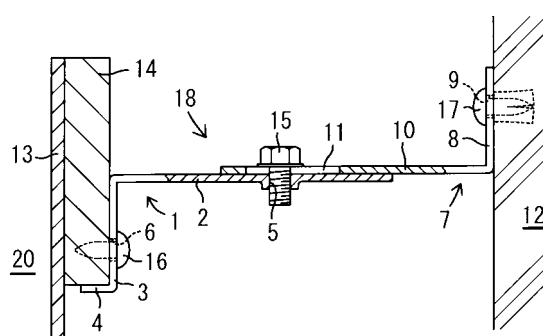
【図 1】



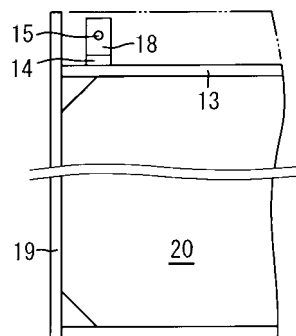
【図 2】



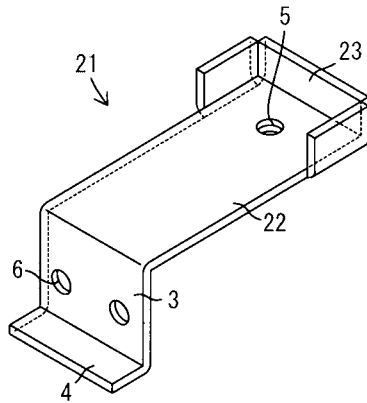
【図 3】



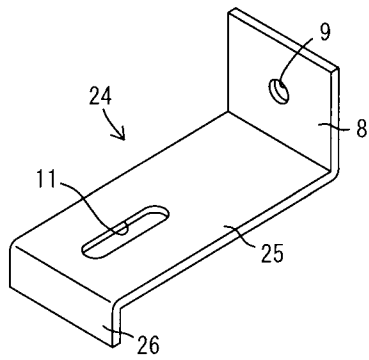
【図 4】



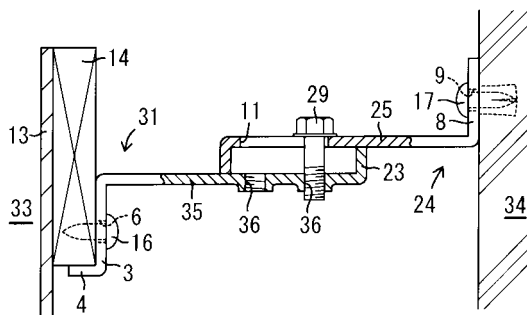
【図 5】



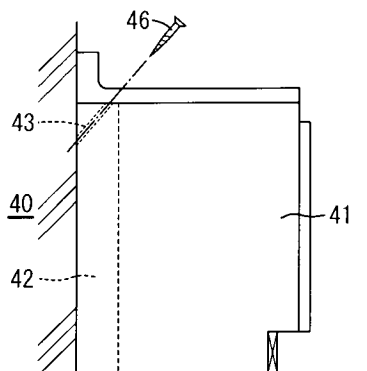
【図 6】



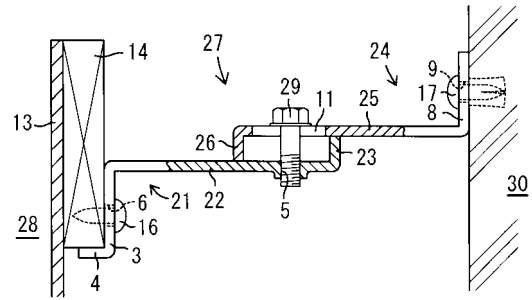
【図 9】



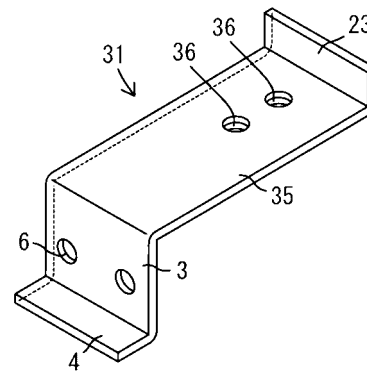
【図 10】



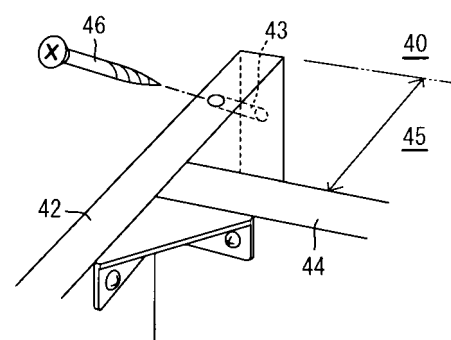
【図 7】



【図 8】



【図 11】



フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A47B 96/06

A47B 77/04

A47B 97/00

E04F 13/08, 101